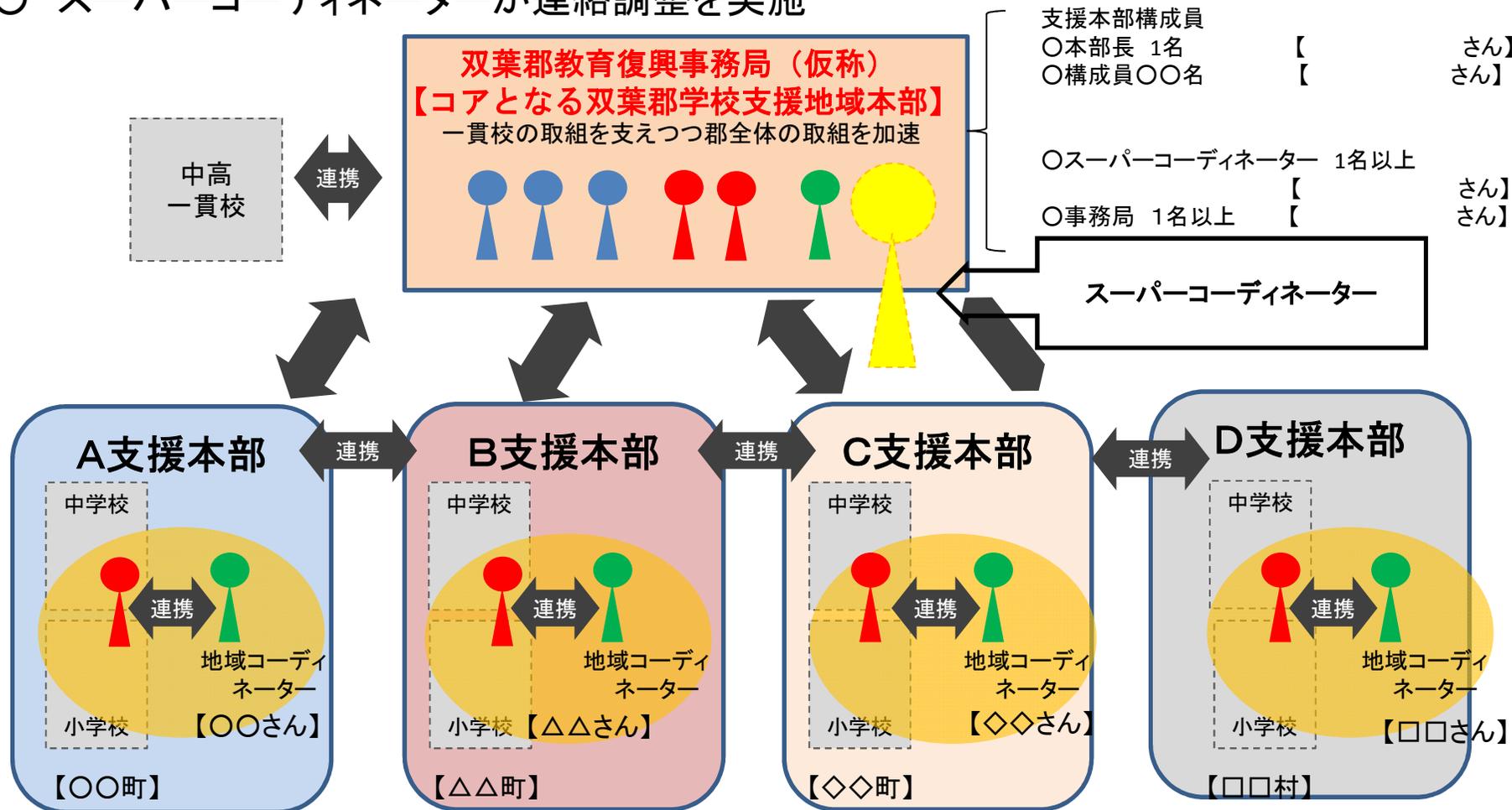


# 双葉郡における学校支援組織の立ち上げに向けて(案)

- コアとなる学校支援地域本部の立ち上げとスーパーコーディネーターの配置
- 各支援本部をコアとなる双葉郡学校支援地域本部がサポート
- スーパーコーディネーターが連絡調整を実施



- 【検討課題】**
- (1) コアとなるチームの顔ぶれの検討
  - (2) コアとなるチームの担う具体的役割の明確化
  - (3) 学校の窓口となる人物の明確化
  - (4) コアとなるチームと、各町村の学校支援地域本部の関係性の検討
  - (5) コアとなるチームと、各校長(町村立学校、中高一貫校)との関係性の検討

## 学校支援地域本部の立ち上げから事業実施までの流れ 概略版

ステップ1 キーパーソンの確保とベースになる団体の確保と選考



ステップ2 学校や地域における課題やニーズの把握



ステップ3 機動的な本部組織づくりと募集情報の発信



ステップ4 関係者に対する活動意識への意識醸成



ステップ5 学校支援地域本部の立ち上げと支援活動実施



※事後 活動内容の評価と今後に向けた情報発信

# 地域で力を育む体制づくりのための一例 ※あくまで考えられる一つの例

## 1. まずは保護者や地域住民に学校や子供たちの活動を知ってもらう

「学校公開週間」など

PTAや自治会などの地域団体と連携し、「学校公開週間」などの授業参観を通じてまずは保護者や地域住民が学校や子供たちが日々、どのような活動を行っているか知ってもらい、学校・家庭・地域の相互理解の取掛かりとする。

## 2. 地域住民に学校や子供たちの活動に関わってもらうように

放課後子供教室

子供が卒業した「元保護者」の方や、日頃より直接学校に関わりがない地域住民の方にボランティア等で子供を育む活動に参加してもらうことにより、子供たちと接することの喜びと重要性を実感してもらい、地域全体で子供たちを育む気運が醸成される。

## 3. 学校と地域住民のお互いの顔が見える状況になったら

学校支援地域本部

地域全体で子供たちを育む気運が盛り上がってきたら、放課後や週末での活動だけでなく、学校の教育活動にも関わってもらう。学校支援活動を通して、学校や子供たちを取り巻く現状や、教職員の取組状況等が地域住民にも伝わっていく。

## 4. 「この学校、もっとこうの方が良いのでは？」をかなえるために

学校運営協議会

学校支援活動を通じて気がついたこと等が、よりよい学校運営に反映されるよう、学校運営協議会に“責任ある地域の大人”として参画。未来を担う子供たちを地域全体の力でどう育んでいくのか、全ての関係者で共有する。

地域とともにある学校・学校とともにある地域づくりの実現へ